

令和3年度 すずか市民アカデミー「まなベル」 事業報告

令和3年度のすずか市民アカデミー「まなベル」は、「アフターコロナの鈴鹿探求」をテーマに全6回の講座を開催し、延べ122名の方に受講いただきました。

講座①:「地球温暖化をはじめとする 環境の状態について」

日時:10月2日(土)10:30~12:00

会場:鈴鹿工業高等専門学校

講師:甲斐 穂高 先生

受講者:30名

講座内容:

地球の過去、現在、未来における気象データと自然環境の移り変わりを見ながら、本当に温暖化が起こっているのかについて考えました。



受講者アンケートより:

「全体的に私自身には少し難しかったが、理解し学べる部分が沢山ありました。地球の海面水位、北極(北半球)海水面積の内容は以前より、くわしく知識を得たかったので大変勉強になりました。温暖化対策プロジェクトがうまく効果が出る様技術が向上していくことを願っております。」

講座②:「物質の階層～素粒子から宇宙まで～」

日時:11月6日(土)10:00~11:30

会場:鈴鹿工業高等専門学校

講師:仲本 朝基 先生

受講者:24名

講座内容:

私たちの身の回りにある「物」は何からできているのか、そしてそれらの間にどんな力が働いて「物」になっているのか、「物理学」の観点からお話いただきました。



受講者アンケートより:

「普段、関わることの少ない分野のお話はとても参考になります。学習(教えていただく)する機会が少ない年代になっていますので、有難く思います。」

講座③:「アフターコロナの観光」

日時:11月20日(土)10:00~11:30

会場:鈴鹿大学

講師:渡辺 敏明 先生

受講者:16名

講座内容:

映画やテレビドラマなどに誘発される観光を通して、どこにでもあるような地域資源が観光資源化するメカニズムについて、三重県内の事例からお話いただきました。



受講者アンケートより:

「コロナ後の観光で、コロナは少なくなったけど人が多くなってきました。大丈夫かなと控えめになりますが、観光によって経済効果が出るのだなと思いました。近場の動画を見せてもらって、よかったです。」

講座④:「新たなコミュニケーションの
取り方について考えよう」

日 時:11月27日(土)10:00~11:30

会 場:鈴鹿大学

講 師:上田 ゆかり 先生

受講者:14名

講座内容:

コロナの流行により生活は一変し、コミュニケーションの取り方も変わる中、「どのように感染症から身を守りつつも、つながりを大切にいくことができるのか」について考えました。



受講者アンケートより:

「相手を思いやる気持ちをもって人生を楽しみたいと思いました。コロナ禍中ですができる事をやっていきたいと思いました。」

講座⑤:「スポーツが地域で果たしている役割とは？
～アフターコロナに向けた新しいスポーツ～」

日 時:12月11日(土)10:00~11:30

会 場:鈴鹿大学

講 師:紺田 俊 先生

受講者:21名

講座内容:

コロナによって人々のライフスタイルは大きく変化し、スポーツへの関わり方も多様化する中、アフターコロナに向けた新しいスポーツについて考えました。



受講者アンケートより:

「e スポーツ, アウトドア, アーバンスポーツ...それぞれ別の物としての認識のみでしたが、それらを相互に関連させて考えることで、いろいろと可能性が広がるなと思った。」

講座⑥:「新型コロナウイルス終息を願って
－困難と音楽－」

日 時:2月26日(土)14:00~15:30

会 場:鈴鹿大学短期大学部

講 師:みやざき 美栄 先生

受講者:17名

講座内容:

西洋音楽史を追って様々な歴史の中で発展してきたクラシック音楽について、鍵盤音楽を中心に解説をいただきました。



受講者アンケートより:

「ピアノの歴史, ハンセン病等について、音楽の角度から詳しく学ばせていただき、みやざき先生に感謝します。」